

備前市事務事業評価表

事務事業名	道路等維持管理事業（日生）	コード	01-01-11-07
		担当課・係	日生総合支所産業建設課
		担当者	山田邦男
事業実施期間	昭和46年～	電話	0869-72-1259
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせる街づくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすい街づくり	
	小項目(施策)	道路	

事業について	
目的 (何のために)	部分的に破損し老朽化した市道を維持修繕することにより通行する人・車輛の安全確保及び円滑化を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市道を通行する全ての人及び車両
内容	道路パトロール及び各地区からの要望により、維持補修箇所を把握し、事業を進めていく。なお、危険箇所については早急に対応する。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
道路維持補修箇所	11箇所	16箇所	
橋梁維持補修箇所	1箇所	0箇所	
維持補修箇所計	12箇所	16箇所	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	14,640	間接補助金等		直接事業費	6,593	間接補助金等		
	人件費	3,708	受益者負担		人件費	2,480	受益者負担		
		市債	3,400			市債	0		
合計	18,348	一般財源等	14,948	合計	9,073	一般財源等	9,073	合計	0

必要人員	0.48人	0.34人	
結果指標			
結果指標名	維持補修箇所	維持補修箇所	
結果指標量	12	16	
単位	件	件	
対前年比	-	133.33%	0.00%
活動にかかるコスト	18,348,268円	9,072,729円	
単位当たりコスト	1,529,022円	567,046円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	道路の配水不良や路面の危険箇所を減少させる。		
成果指標名	維持管理不備による事故発生箇所		
式又は説明	道路維持修繕を実施することにより事故が発生しないようにする		
	17年度	18年度	
成果指標量	0	0	
対前年比	0.00%	-	
到達目標値	0	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 道路法)
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 事業費が減少しているが、要望があればその日に現地確認し、費用・効果・危険度を判断し維持補修を行っている。
-----------	---	---	--

目標値	結果指標量	20	結果指標量	
	成果指標量	0		

総合評価	技術的要素の少ない維持補修についてはNPO、自治会、ボランティアなどに材料を支給して協力を得ること等により、補修費を減少させる余地はある。	評価区分 < A ~ E > B
------	---	-------------------------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	ニーズは高いが要求度を下げる	平成22年度	要求度を下げることにより維持管理費の減少が図れる
効率性	市道、県道、国道の維持管理手順の改善	平成21年度	県・国道の維持管理人員費の減少
有効性	NPO、自治会、ボランティア等の参画	平成22年度	市道の維持管理人員費の減少